

利用学習計画書

平成24年4月6日

担当 第6学年 成田 栄子

1 ねらい

縄文の森広場での見学・体験学習を通して、歴史学習への興味・関心を高める。

2 評価

縄文時代の人々の暮らしについて興味をもち、体験学習に生き生きと取り組むことができる。

3 学習活動について

社会科単元「米づくりのむらから古墳のくにへ」

自分たちの住む仙台市の遺跡や展示資料を見学したり体験したりすることによって、これからの歴史学習に対してさらに意欲を持たせる。

4 事前指導

弥生時代やそれ以前の昔の人々の暮らしについて、教科書に沿って大まかに学習している。

5 当日の指導（活動）内容

①縄文の森広場

- (1) 見学学習 「縄文の森広場 探検ノート」を活用し、全体で館職員の説明を聞きながら学習する。
- (2) 体験学習 全体で館職員の説明を聞きながら、土笛作りの体験をする。

6 当日の交通手段 市営バス

7 事後指導 分かったこと、感想をノート等にまとめる。

利用学習報告書

平成24年5月7日

担当 第6学年 成田 栄子

1 事後指導について

(1) 実施日

平成24年5月2日(水) 2校時

(2) 主な内容

- ・社会科の授業で学習してきたことをもとに、分かったことや疑問点、感想などをまとめた。
- ・見学で使用した学習ノートの答え合わせを行った。

2 送付する資料

見学・体験の概要(児童の感想含む)をまとめたもの(A4で2枚)

縄文の森広場 校外学習の感想

上愛子小学校 6年1組

<A 男子の感想>

ぼくは、縄文の森広場に行って楽しいことがいっぱいありました。

ボランティアの人たちにいろんなことを教えてもらいました。外では、土器を作る粘土を採るために掘られた穴や、粘土を貯蔵する穴、落とし穴やいろいろな跡がありました。

でも、びっくりしたことが一つあります。子供は、6～7才になる前にほとんどの子供が亡くなっていたのがびっくりしました。

縄文時代の人たちは、カモやイノシシ、シカを食べていたと聞きました。縄文時代のことをもっと知りたくなりました。

<B 男子の感想>

ぼくが、縄文の森に行って印象に残ったことは三つあります。

一つ目は、たて穴住居がすごく広いと思ったことです。でも、暗かったのでびっくりしました。ぼくはたぶん住めないと思いました。

二つ目は、縄文の森広場のボランティアの人たちが、ものすごくやさしく教えてくれたことです。

三つ目は、昔の人の道具は、あんなに種類があるということがびっくりしました。米などを石包丁で切ってみたくくなりました。本当に楽しかったです。

<A 女子の感想>

縄文の森広場に行って気付いたことは、縄文時代の人たちは、とても頭を使っていたということです。なぜかというと、たて穴住居などを見た時、太くて大きな柱がありました。ボランティアの木村さんに聞いたら、このクリの木は、一度あぶって虫などを殺していたと言っていました。その他に、たて穴住居の中で高くなっている所がありました。縄文時代の人たちは、その少し高くなっている所に寝ていたそうです。それは、動物から自分の体を守るためだからです。私は、縄文時代の人たちは、すごく苦勞をしていたから、いろんな工夫をしていたんだと思いました。私はもっと縄文時代のことを勉強して他の工夫も知りたいと思いました。

<B 女子の感想>

縄文の森広場に行って印象に残ったのは、土器や石器を置いていた場所です。土器は、クッキーみたいに薄くて模様が描いてある土器や、上がギザギザしている土器があって、「作るのが大変そうだなあ。」と思いました。石器は、矢じり、すり石、穴をあける道具や、すり石の台になる石皿がありました。特におどろいたのは、矢じりがいっぱいあったことです。前に家族で石器を探せる場所に行って、矢じりを1個見つけたけど、落としてしまったことがありました。でも、ここにはたくさんあって、「こんなにあるなんてすごい。私もまたいっぱい見つけたいな。」と思いました。

私は、学校の勉強で習っていたけど、実際に見たり体験して、理解することもいいと思いました。